

第153回教育研究評議会議事録

- 1 日 時 平成28年11月24日(木) 13時30分～14時10分
- 2 場 所 本部大会議室
- 3 出席者 森脇, 杉戸, 江馬, 福士, 横山, 小倉, 林, 王, 池谷, 別府, 和佐田, 洞澤,
湊口, 原, 野々村, 板谷, 福井, 杉山, 千家, 石黒, 丹羽, 益川, 粟屋, 内田,
森田, 山本, 野村, 大矢の各委員
オブザーバー: 吉田
代理出席者 : 二上(田中代理)

4 第152回の議事録を確認した。

5 報告事項

(1) 第7回教学委員会(10/18)について

(2) 第8回教学委員会(11/15)について

江馬委員から, レジュメに基づき報告があった。

(3) 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成27年度に係る業務の実績に関する評価について

杉戸委員から, 資料1に基づき, 本学の全体評価として, 大学の機能強化に向けた取組の状況, 及び項目別評価として, 業務運営・財務内容等の状況, 並びに教育研究等の質の向上の状況について報告があった。次いで, 国立大学法人等の平成27年度評価結果の特徴, 及び「特筆」される取組, 「注目」される主な取組, 「課題」とされる事項について報告があった。また, 国立大学法人・大学共同利用機関法人の改革推進状況として, 本学においては, ①岐阜県と連携した食品分野における教育研究体制の構築, ②留学生の確保に向けた研究室体験等の提供, ③臨床研究推進に向けた体制整備が取り上げられた旨の説明があった。

(4) 役員会報告について

議長から, 資料2に基づき報告があった。

(5) 教育職員の雇用について

議長から, 資料3のとおり教育職員を雇用した旨の報告があった。

6 審議事項

(1) 平成29年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担に関する申合せ(案)について

江馬委員から, 資料4に基づき, 教育推進・学生支援機構において, 本学の教養教育の在り方も含め種々検討した結果, 全教員出動体制の原則は堅持することとし, 平成28年度の全学共通教育科目に係る非常勤講師経費の負担は, 基本的に平成23年11月17日開催の本会議承認の趣旨を踏襲し, 申合せ(案)を策定した旨の説明があり, 審議の結果, これを承認した。

(2) 岐阜大学における3つの方針について

江馬委員から、資料5に基づき、中央教育審議会から発表された「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)、「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)及び「入学者受入れの方針」(アドミッション・ポリシー)の策定及び運用に関するガイドラインについて説明があり、3つの方針に基づいた教育の質保証を確かなものとし、教育内容・方法等の改善を円滑に進めるために、策定指針に則って「岐阜大学における3つの方針」を策定した旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、江馬委員から、平成29年3月末までに各学部のポリシーを策定・公表する旨の今後の予定について説明があった。

主な意見は次のとおり

- ・学部のアドミッション・ポリシーにおいて、「～しようとする人」・「～できる人」が混在していることから、記載方法を統一してはどうか。

- 項目によって、「～しようとする人」・「～できる人」を使い分けることとしたい。

(3) 教育研究院の設置に伴う新たな規程の制定案について

横山委員から、資料6に基づき、部局長・部長会での意見照会を踏まえ、教育研究院規程及び教育研究院運営委員会細則の制定に係る説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、横山委員から、各部局において、人事計画の準備を進めてほしい旨の依頼があった。

7 次回の開催について

(1) 次回は、12月15日(木)13時30分から大会議室において開催することとされた。